



古河市公明党

(質問者：高橋 秀彰 議員)

市政運営の基本方針について

問 本市の未来への発展に向けた新市建設計画の先導的プロジェクト等の推進について、プロジェクト推進室を設置するとあるが、職員等の配置および具体的な事業内容等について伺う。

答 (市長) プロジェクト推進室の職員の配置は3名程度を予定している。業務内容は新市建設計画に定められた(仮称)南古

河駅の設置、産業文化交流拠点の整備、高等教育機関の誘致、筑西幹線道路の整備の4つのプロジェクトの推進と市長指示事項の調整および実施の進捗管理が主な業務である。



都市基盤について

問 高齢化の進展に伴う交通弱者の増大の中で、市民の移動手段として、安全で自由に移動できる交通環境の充実が必要不可欠である。持続可能な公共交通体系の構築等について、どのよ

うな構想をお考えか伺う。

答 (市長) 公共交通機関に関しては、利用者アンケートやタウンミーティング等でさまざまなご意見、ご要望をいただいております。要望に応えられるよう古河市地域公共交通網形成計画を策定する必要が生じてきたところである。十分な調査をし、その結果を踏まえて、古河市公共交通活性化会議を通して、持続可能な公共交通体系を構築していきたい。

《その他の質問》

- ・市民協働について
- ・健康福祉について
- ・教育文化について
- ・産業労働について
- ・生活環境について



市民ベースの会

(質問者：長浜 音一 議員)

施政方針について

問 先導的プロジェクトの推進に当たり、どのように市民の声を聞いて、推進の是非を決めるのか。またICT教育について、市内の公開研究授業やシンポジウムを見たが、子どもたちの旺盛な学ぶ意欲が見え、積極的な言動が印象的だった。市は最先端の教育環境でどんな授業を展開しているのか。また、今後推進するための課題は。

行財政改革や職員の意識改革については、歴代の首長も推進されてきたが、改革の目指すべき目標は。また目標達成のための具体的方法として何を実施するのか。

答 (市長) 先導的プロジェクトの推進について、市民の声を聞く方法として現在実施しているアンケート調査、シンポジウム、パブリックコメント等のほかにもさまざまな手法を検討する必要がある。今後対話と行動を基本姿勢として、市民とともに未来に誇れるまちづくりに向け取り組んでいきたい。

ICT教育については、ICT機器を児童生徒の考えの整理、表現する道具として利用した授業を展開してきた。また、プロ

グラミング学習等の先進的な取り組みも進めている。今後はこれまでの実践例を踏まえ、有効な指導法や先進的な活用法を市内全域に広げていきたい。

行財政改革については、第3次古河市行政改革大綱で、3つの重点目標として、健全財政の確立、職員数の抑制、ファシリティマネジメントの確立を掲げ、全庁を挙げて取り組んでいる。

職員改革については、職員みずからがつくった古河市職員新・人材育成ビジョンがあるのでこれを再度振り返ることも必要だと思う。

